

平成24年3月時刻改正 新しい輸送サービスのご案内

平成23年12月16日
日本貨物鉄道株式会社

JRグループでは平成24年3月17日(土)にダイヤ改正を実施いたします。
このたび、ダイヤ改正の内容について調整が終了しましたのでお知らせいたします。
この資料は、貨物列車の改正内容についてまとめたものです。

* 本文中の(㊦)は貨物ターミナルの略

常磐線のコンテナ列車を東北線及び上越線経由に変更します

東日本大震災の影響で、常磐線を経由する貨物列車の運転が出来ないことから、すでに東北線経由で臨時列車にて迂回運転を実施しておりますが、今改正において、関東⇄北海道 2 往復、関東⇄東北 2 往復の計 4 往復のコンテナ列車につきまして、東北線及び上越・羽越・奥羽線経由へ変更し、年間を通じ安定してご利用頂けるようにします。

列車番号	発駅・時刻	着駅・時刻	停車駅	記事
95	梶ヶ谷(夕) 21:54	札幌(夕) 翌々日 6:22	新座(夕)・熊谷(夕) ・南長岡	【上越線経由】
94	札幌(夕) 8:47	梶ヶ谷(夕) 翌日 19:12	苫小牧貨物・東室蘭 ・新座(夕)	【上越線経由】
6093	越谷(夕) 5:00	札幌(夕) 翌々日 1:46	八戸貨物・東青森	運転日は別途ご案内 します【東北線経由】
6092	札幌(夕) 20:54	隅田川 翌日 21:53	苫小牧貨物・東青森 ・八戸貨物	運転日は別途ご案内 します【東北線経由】
6091	隅田川 21:04	仙台(夕) 翌日 4:48	越谷(夕)	運転日は別途ご案内 します【東北線経由】
6090	仙台(夕) 23:03	隅田川 翌日 5:28		運転日は別途ご案内 します【東北線経由】
6097	隅田川 16:21	小牛田 翌日 10:33		運転日は別途ご案内 します【東北線経由】
6096	小牛田 4:08	隅田川 翌日 13:08		運転日は別途ご案内 します【東北線経由】

コンテナ取扱駅(富士駅)をリニューアルし便利になります

富士駅のコンテナホームを広くし、荷役線での取扱両数が増えるようリニューアル改良します。これにより、鉄道コンテナ輸送がより便利になります。

また、富士駅の改良により紙輸送については国鉄時代から使用してきた貨車ワム 80000 形式(有がい車)での輸送を全て終了し、コンテナ列車化により輸送時間の短縮を図ります。

【富士駅概要】

	現行	リニューアル後
コンテナ取扱量	24 万ト	35 万ト
荷役線収容両数	17 両	30 両
取扱両数	25 両	45 両
コンテナ留置能力	350 個	410 個
ホーム及びコンテナ置場面積	9,820 m ²	12,340 m ²

コンテナ輸送をより便利にします

大型コンテナ輸送のネットワークの拡大を進めていますが、40ftタイプの海上コンテナ輸送がより便利になります。

【新たな40ft海上コンテナ輸送増強区間】

区間	列車番号	改正	記事
東京(夕)→福岡(夕)	5053	コキ106形式 コンテナ車配備	高さは 8フィート6インチ以内
福岡(夕)→東京(夕)	5052	コキ106形式 コンテナ車増備	

高崎・長岡地区から北海道行きに新しい輸送ルートが加わりより便利になります。

区間	現改	輸送ルート	中継駅	リードタイム
熊谷(夕) →札幌(夕)	現行	3098~93	越谷(夕)	20:31 発 : 翌々1 : 46 着
	改正	95	なし	6:30 発 : 翌日 6:22 着
南長岡 →札幌(夕)	現行	3097~4091	新潟(夕)	15:49 発 : 翌日 13 : 29 着
	改正	95	なし	11:00 発 : 翌日 6:22 着